

指定管理者評価票

年度	令和7年度
担当部署	福祉部 子育て応援課 保育・幼稚園係

1 公の施設

施設名称	瑞穂町立石畑保育園		
所在地	東京都西多摩郡瑞穂町大字石畑1837番地		
施設概要	①敷地面積2,284.11㎡ ②建物面積791.635㎡ ③建物構造 鉄筋コンクリート造		
設置年月日及び経過年数（導入時）	平成10年4月設置 平成20年4月導入	導入後	18 年経過

2 指定管理者及び業務内容

指定管理者	団体名	社会福祉法人武蔵村山育成会			
	所在地	東京都武蔵村山市大南一丁目33番地の3			
指定管理期間	令和5年4月1日～令和10年3月31日	選定方法	公募	利用料金制	導入
指定管理の目的及び求める効果	女性の社会進出や少子化対策などの面から保護者の要望が多様化しており、その実現を図っていく上で、民間活力の導入により、様々な保育ニーズに対し、柔軟に対応していきます。				
指定管理の業務内容	（1）生活指導、保健衛生その他入園児の処遇に関する業務 （2）施設、設備等の維持管理に関する業務 （3）施設の衛生管理に関する業務 （4）その他町長が必要と認める業務				

3 施設の利用状況

（単位：日、人）

利用状況（量）を示す指標名		前指定末 令和4年度	指定期間中の実績				
			令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
①	11時間開所（実施日数）	293	293	293	293		
②	延長保育（利用人数）	210	147	297	574		
③	障害児保育（入所人数）	10	14	12	13		
④	一時保育（利用人数）	362	495	363	540		
⑤	アレルギー対応給食（除去食等提供人数）	6	8	4	7		

4 指定管理者の収支状況

会計方式

発生主義

（単位：円）

		前指定末 令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
収入	指定管理料	238,222,139	253,878,360	254,016,495	276,534,967		
	利用料金収入	828,500	736,500	629,100	1,091,500		
	その他	19,551,098	23,090,594	6,138,425	5,364,646		
	計	258,601,737	277,705,454	260,784,020	282,991,113		
支出	支出	259,869,033	277,522,622	260,004,235	282,179,199		
	うち修繕費	785,400	338,962	3,514,830	5,489,730		
	うち人件費	197,308,207	197,565,812	192,974,103	214,116,541		
	その他	61,775,426	79,617,848	63,515,302	62,572,928		

5 今年度の変更点

施設管理・改修に関する こと	令和5年度	積立金を利用して老朽化していた園庭の大型遊具の入れ替え工事・町による手洗い場及びプール改修工事【修繕】トイレ自動センサー・手洗器水漏れ・自動火災報知設備・ガスバーナー故障・東門引き戸ローラー交換・食器洗浄機・ミニキッチン・1階小便器
	令和6年度	補助金を利用して老朽化していた避難車の入れ替え・【修繕】4歳児クラスおよび沐浴室水漏れ修繕・スチームコンベクション水漏れ・衣類乾燥機・2階テラスバイオマット・園庭スピーカー交換・全自動洗濯機・食器洗浄機ノズル交換・1歳児内装工事・照明器具交換14台・パソコン3台入れ替え・2階テラス大型遊具・軽自動車
	令和7年度	補助金を利用して2Fトイレ洋式化工事・【修繕】プール排水ポンプ、1F幼児トイレ照明器具LED交換、2Fダムウェーダー洗面水栓交換、2F乾燥機部品交換、ノートパソコン・タブレット合計3台入れ替え、室内大型遊具
	令和8年度	
	令和9年度	
事務改善及び効率化等に関する こと	令和5年度	保育支援システム（Childcareweb）のバージョンアップ・保護者へのメッセージ機能アプリの導入
	令和6年度	保育支援システム（Childcareweb）のバージョンアップ・ドキュメンテーションを活用し写真を多く入れることで日誌入力 of 省略化につながるようにした。
	令和7年度	保育支援システム（Childcareweb）を活用しドキュメンテーションを作成した。保育日誌と連動させたり、作成するポイントを改めて学んだりしたことにより業務の効率化につなげることができた。
	令和8年度	
	令和9年度	
利用状況に関する こと	令和5年度	定員110名に対し実員111名の利用、障害児保育14名受け入れ、延長保育147名、一時預かり495名受け入れ
	令和6年度	定員110名に対し、4～6月及び11月は108名～109名であり、7～10月・12月～3月は110名であった。障がい児12名の受け入れ、延長保育297名、一時預かり363名の受け入れがあった。
	令和7年度	定員110名に対し、4～7月は106名、8月は108名、9～3月は109名であった。障がい児13名の受け入れのうち、医療的ケア児1名、延長保育574名、一時預かり540名の受け入れがあった。
	令和8年度	
	令和9年度	

6 経費比較（前指定末と指定後）

（単位：円）

		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
算定	指定後	259,458,719	254,090,295	276,608,037		
	前指定末（令和4年度）	239,552,014	239,552,014	239,552,014		
	比較	19,906,705	14,538,281	37,056,023		
実経費	指定後	259,339,561	254,055,295	276,573,037		
	前指定末（令和4年度）	239,349,254	239,349,254	239,349,254		
	比較	19,990,307	14,706,041	37,223,783		

※実経費では、「町職員人件費」及び「物品提供金額」を除外

7 個別評価

評価ランク		評価内容
良い	5	協定等を遵守し、仕様に沿った管理であった。
やや良い	4	協定等を遵守し、おおむね仕様に沿った管理であった。
普通	3	協定等をほぼ遵守し、おおむね仕様に沿った管理であった。
やや悪い	2	協定等をほぼ遵守し、おおむね仕様に沿った管理であったが、一部に課題があった。
悪い	1	協定等を遵守できず、仕様に沿った管理ができなかった。

評価項目		評価の着眼点	評価	管理者評価理由	評価	担当者評価理由
業務評価指標	協定書・仕様書で示した事項	協定書・仕様書で示した事項が適切に履行されているか。 ・条例で示した開館日数と実開館日数は適切かなど	5	協定書・仕様書で示されている事項を適切に履行し、全職員が一丸となり理念実現のために協働し、5か年計画を推進した。	5	・協定書や仕様書に基づき、円滑に保育園を運営した。
	維持管理状態	維持管理の状態が適切か。など	5	瑞穂町と協議しながら利用者の安全安心できる管理運営のため、日常安全点検・衛生管理を実施し、適切に維持管理を行った。	5	・適切に維持管理を行っている。
インプット指標	行政資源投入量	指定管理料の増減の状況は。 指定管理料は適正か など	5	指定管理料は適正であった。	5	・指定管理料は私立の園と同様に公定価格を用いて算定しており、適正である。
	職員投入及び物品提供の状況	職員投入及び物品提供の状況は。 ・町職員の関与や提供物資等は適切か など	5	補助金を活用した安全対策事業等、利用者の安全や様々なニーズに適切に対応するため、町と協議しながら管理運営を行った。	5	・園からの報告に適切に対応した。
アウトプット指標	利用者数の状況（事業の活動量、活動実績）	事業計画どおりの利用状況になっているか。 ・利用者は事業計画どおりか（環境の変化など外部要因考慮） など 利用者の満足度を得られているか。 ・職員の接客態度、利用条件等は適切か など	5	4月は106名の利用状況であったが、9月には109名の利用者となった。障害児保育は13名となり、関係機関との連携を図りながら園全体で支援した。保育では、園のテーマを「自然」に設定し、「とうきょうすくわくプログラム」に取り組んだ。	5	・児童の受入状況は適切である。 ・障害児に対して適切に職員を配置し、対応している
	施設の稼働状況（稼働日数・貸し出し日数）	行政と連携を図り施設の目的を達成しているか。 ・施設の設置目的を達成しているか など	5	指定管理の業務内容に基づき、293日間開所した。	5	・稼働状況は適切であった。
	利用料収入の状況	事業計画どおりのサービスが提供されているか。 ・事業の計画、実施、成果は計画どおりか。 ・営業努力の状況は認められるか など	5	事業計画に基づき、予定通りのサービスを提供することができた。 延長保育は574名、一時預かりは540名（年間利用者）の利用となった。	5	・一時預かり事業等により、多数の児童を受け入れた。
業務収支	収支の状況	収支のバランスが適切か。 ・経営状況は安定しているか など	5	収支は適切に行われている。	5	・収支状況は適切である。
アウトカム指標	利用者の利便性の改善	利用者の利便性向上のため、どのような努力をおこなっているか。 ・利用者の意向反映について、適切に改善策が講じられているか など	5	「とうきょうすくわくプログラム」に取り組む中で、「1人ひとりを大切にする保育」の実践を行った。その様子を、電子連絡帳、毎日のお知らせ、クラスだより、面談、懇談会で保護者に発信し、子どもの発達の理解につなげた。外国籍の子どものクラスだよりには、日本語を理解しやすいようにルビを振るなど配慮した。個人面談では、兄弟のいる家庭には同日に実施できるよう配慮したり、面談期間外で日程を調整するなどした。	5	・面談や懇談会、アンケートでの改善が必要な事項や課題に対して、適切に改善を図っている。
	プログラム等質の改善	施設の活用や事業への創意工夫はどのようなことを行っているか。 など	5	令和7年度より「とうきょうすくわくプログラム」を取り入れ、引き続き「1人ひとりを大切にする保育」の実践をした。また職員1人ひとりのチャレンジテーマと運動させたことで、職員が保育の魅力を再認識し生き生きと日々の保育に取り組むことができ、保育の質の向上につながった。保護者には、年度末懇談会で「すくわく」について説明をし、写真、クラスだより、ドキュメンテーションで保育の様子を伝えた。地域子育て事業「みんなの広場」では、ボコアボコを使ったメンタルケアの講習会や外部から理学療法士を招き「乳児期の運動遊び」を実施し、子育ての悩みを伝え合いながら、家庭でもできる遊びを実践し大変好評だった。	5	・各種事業を適切に実施し、保育の質の向上を図っている。
	利用者の満足度の状況	モニタリング（利用者の満足度）はどのようなことをおこなっているか。など	5	第三者評価を受審し、利用者アンケート回収率72.6%のうち、満足度の合計は95.1%であった。また行事終了後のアンケートでは、大半が満足していただけた内容だった。	5	・福祉サービス第三者評価や行事終了後など定期的なアンケートの実施により、利用者の声の把握に努めている。福祉サービス第三者評価における総合的な感想では大変満足・満足を合わせて95.1%となった。
遵法検査	遵法検査の状況	法定検査及び必要な検査並びに東京都や町の監査は適切におこなわれているか。など	5	法定検査や瑞穂町立ち入り調査は適切に行われた。	5	・法定検査や瑞穂町立ち入り調査は適切に行われた。
総括	経費比較（前指定末と指定後における町支出の比較）	町職員の関与は適切か ・経費の状況は適正か。など	5	経費状況は適切であった。	5	・十分な積立金があり、安定した経営を行うことができています。